

¡Viva! México

メキシコに来て早くも2ヶ月が経とうとしています。思い返せば8月は怒涛の1ヶ月でした。おそらく最初に一番辛かったのは、スペイン語が通じなかったことよりも、道端で食べたタコスのせいでお腹を壊したことです。早速メキシコの洗礼を受けてしまった私は、トイレとベッドを行き来する1日を過ごしました。そんな中、広島県人会の平田ビクトルさんご家族に日本食をご馳走していただき、分けとくださった薬を飲み急激に体調の回復の兆候が見られました。異国で食べる日本食ほど



幸せな * UNAM の図書館、実物をもっと圧倒されます



* Danza

Traditional の発表会

ものはありません。私はなんて単純なのでしょうか。やはり、スペイン語が全く話せなかったことも辛いと感じていました。学校の友達や先生はゆっくり話してくれますが、一歩街に出てみると呪文のような言語を話されて、何度も聞き返したり、わかったふりをしたり、理解することもままならない状態でした。しかし最近では地下鉄やスーパーマーケットでのメキシコ人の会話をすこしずつ理解できるようになり、突

然話しかけられても二言三言くらいなら答えられるようになりました。まだまだですが、**poco a poco** (少しずつ) スペイン語を習得していきたいです。そして**9**月、メキシコはどこもかしこもお祝いムードです。**9月15日はメキシコの独**



立記念日で、9月中はメキシコのあらゆる場所が赤、緑、白で飾り付けられていました。私は15日当日にメキシコ人の友達と一緒にコヨアカンという地区の集まりに参加しました。イルミネーション

や花火のきらびやかな演出は日本のお祭りとはかなり違っていました。メキシコでは通常この日は家族と過ごすのが主流だそうです。家族を大切にするという文化はメキシコという国の良さの一つだと思います。私の思うメキシコの良さは、**適度に**

適当なところだと思います。このレポートのタイトル

である **”¡Viva! México”** はメキシコ人の友達と私の合言葉なのです。例えば、信号を無視して通る車を見たとき、ぎゅうぎゅうのバスに乗っているとき、渋滞し



ているとき、辛い食べ物を食べさせられたとき、夜遅くまでフィエスタをしているとき、変な人を見たとき、道にゴミが落ちているとき、友人が大遅刻をしたとき、この言葉を言えば、「まあ、いっか、これがメキシコ」というふうに納得できてしまうのです。これだけだと、「メキシコとんでもない国だな」と思われるかもしれませんが、

はい、**とんでもない国**です。毎日が衝撃です。でもこの合言葉を唱えてしまえば、スーッと頭が理解してくれるのです。皆さんの中でメキシコという国はどん

イメージでしょうか。暑い国？治安が悪い？麻薬？タコス？様々なイメージがあると思います。渡航前にもたくさん注意喚起をされましたが、心配だったのは治安です。確かに、夜道や少し治安が良くないとされている地域、地下鉄など常に気をつけなければなりません。しかし、それ以上に人と人との関わりが強く、日本でも当たり前ですが、席の譲り合いが当たり前のように行われたり、スーパーで出会ったおばあちゃんと「アボカドが最近高いのよね」という世間話をしたり、市場のお兄さんとお話したり、バーで出会った人と一緒に踊ったり、近所のタコス屋さんで顔見知りになったり、道を聞いたら親切に教えてくれたり、自分たちが外国人であるからなのかもしれませんが、このように人と関わる機会が日本よりも多くなりました。このように周りの優しさに触れたことで、何倍も自分の中で余裕が生まれるようになりました。まだまだスペイン語がわからなくて、落ち込むこともあります。「あ、まちがえた」と頭の中で何度も間違いを思い出して、恥ずかしいなあと思うことがあります。でも一生懸命伝えようとすると、その倍理解しようと耳を傾けてくれるメキシコ人にとっても感謝しています。

やっとテストが終わり明日から2週間の休暇が始まります。旅行に行ったり、ゆっく



り家で過ごしたり、散歩してみたり、人生について考えてみたり、元気に次のタームを迎えられるように楽しむことができます。¡Hasta luego!

P.S. 日本のおばあちゃんが作ってくれた雛人形

を、広島大学の青木利夫先生に届けていただきました。ホストファミリーも日本のおばあちゃんも大喜びしてくれました！本当にありがとうございました。